



GOVERNORS Monthly Letter

ガバナー月信



3 2026
月発行
vol.9

2025-2026 年度 RI 会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」

GOVERNOR'S Monthly Letter



よいこと
のために
手を取りあおう



フランチェスコ・アレツォ RI 会長と。

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度ガバナー 玉井 清治

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail : rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

ガバナー月信 vol.9 目次

第5回 ガバナー補佐会議



第5回ガバナー補佐会議を終えて

国際ロータリー第2510地区
2025-2026年度 地区代表幹事

岩川 信子 (函館亀田 RC)



次期ガバナー補佐会議・地区チームラーニングセミナー



次期ガバナー補佐会議 / 地区チーム・ラーニングセミナーの状況・報告

国際ロータリー第2510地区
2026-2027年度 地区代表幹事

武部 幸紀 (札幌 RC)



IM 報告



第9グループ第54回 IM 報告

国際ロータリー第2510地区 2025-2026年度
第9グループ ガバナー補佐

川本 康裕 (室蘭北 RC)



OTHER CONTENTS

- | | | | |
|--------------------------------------|----|---------------------|-----|
| ■ ガバナーメッセージ | 1p | ■ 地区公共イメージ向上委員会より | 8p |
| ■ 第5回ガバナー補佐会議を終えて | 2p | ■ ハイライトよねやま | 9p |
| ■ 次期ガバナー補佐会議 / 地区チーム・ラーニングセミナーの状況・報告 | 3p | ■ コーディネーター NEWS | 11p |
| ■ 第9グループ第54回 IM 報告 | 4p | ■ 1月会員数・例会数報告 | 14p |
| ■ 2510地区 (北海道) ナイト開催のご案内 | 5p | ■ 地区カレンダー 3月・4月 | 15p |
| ■ 新会員のご紹介
/1月米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付 | 7p | ■ 訃報 / ガバナー事務所からお願い | 16p |



今月の写真「札幌駅」

明治13年、幌内鉄道の終点として誕生した札幌停車場。

当初は幌の字が糸へんで表記されるなど、まだ定まらぬ時代でした。その黎明の歩みを礎に、札幌は北海道を牽引する大経済都市へと飛躍し、今も未来へと鼓動を刻み続けています。

〔撮影日〕平成24年7月15日：玉井ガバナー



小さな一歩が、命を救う — 水と衛生月間に寄せて —

国際ロータリー第 2510 地区
2025-2026 年度 ガバナー

玉井 清治
(函館亀田 RC)

ようやく春の訪れを感じる季節となりました。
会長・幹事の皆さまには、ますますご健勝のことと心より
お慶び申し上げます。

本年度も残すところ 4 カ月を切り、いよいよ次年度に向け
た準備が本格化する時期となりました。会長エレクト研修
セミナー (PETS) や地区研修・協議会を通じ、次年度へ
の確かなバトンパスが進められようとしています。各クラ
ブにおかれましても、この残された時間を大切に、ゴール
に向かって最善を尽くし、素晴らしい年度を締めくくって
いただきたく存じます。

さて、3月、ロータリーの特別月間「水と衛生月間」で
す。私たち日本に住んでいると、豊かな水と高い衛生環境
を当たり前のように感じがちですが、世界には今もなお、
「命を救うきれいな水」を心から求める地域が数多く存在
します。現在、世界では約 44 億人、すなわち世界人口の
半数以上が安全な飲料水を家庭で利用できない状況にあり
ます。これは、従来の推計 (約 22 億人) を大きく上回る
数字であり、近年の調査手法の精度向上によって明らかにな
ったものです。汚染水に起因する下痢性疾患で毎日
3000 人以上の子どもたちが命を落としているとも言われ
ています。ロータリーは、毎年 250 万人の命を救うため、
きれいな水の提供と衛生環境の改善に力を注いでいます。
私たちも、ロータリーショーケースやアイデア応援サイ
トを参考にしながら、財団補助金を活用して、地域や世界
に貢献できる人道的奉仕に取り組んでまいりましょう。

3月13日は、世界最初のローターアクトクラブが認証さ
れた記念日です。この日を含む1週間は「世界ローターア
クト週間」と定められ、世界中でローターアクトとロータ
リークラブの連携行事が行われています。若い世代のエン
ルギーと創造性は、ロータリーに新たな息吹をもたらしま
す。同時に、ロータリアンの経験や知恵も、ローターアク
ターにとってかけがえのない学びとなります。ロータリー
クラブの皆さまには、若い世代との交流を深め、ともに地
域社会をより良くするためのプロジェクトに挑戦していただ
きたく、お願い申し上げます。

本年度もいよいよ終盤戦に入りました。クラブ創立当初の
ビジョンを今一度振り返り、目標達成に向けてラストス
パートをお願いいたします。また、次年度への確実な引き
継ぎを行い、それぞれのクラブが堂々たる「有終の美」を
飾られることを心より期待しております。
ともに未来へ！リバイバル原点回帰。

よいことの
ために
手をとりあおう

Rotary 



第5回ガバナー補佐会議を終えて

国際ロータリー第2510地区
2025-2026年度地区代表幹事

岩川 信子 (函館亀田 RC)

2026年1月24日(土)、ホテル法華クラブ函館において第5回ガバナー補佐会議が開催されました。寒さ厳しい時期にもかかわらず、地区ラーニング委員、ガバナー補佐、地区役員をはじめ、多くの皆様にご参集いただき、心より御礼申し上げます。

冒頭では玉井清治ガバナーより開会のご挨拶があり、任期も後半に入らる中で、地区としての取り組みをさらに力強く推進していく決意が示されました。また、地区ラーニング委員会より、これまでの活動に対する振り返りと、今後の研修方針についての説明があり、地区全体として学びを通じた成長を重視していく姿勢が改めて共有されました。



会議の中心となったのは、各ガバナー補佐による上半期活動報告と下半期の活動予定についての発表です。それぞれのグループで工夫を凝らした取り組みが紹介されるとともに、課題や今後の展望について活発な意見交換が行われ、大変有意義な時間となりました。

また、ロータリー財団寄付の現状報告、米山記念奨学会ゼロクラブ解消に向けた取り組み、地区会員増強の現状についての意見交換など、ロータリーの基盤を支える重要なテーマについても深く議論されました。さらに、新会員セミナーや RYLA セミナーの計画についての説明もあり、次世代育成と人材育成への力強い取り組みが感じられました。

今回の会議で特に印象に残ったキーワードは「パッション」です。任期も残すところ半年となる中、ガバナー補佐の皆様が任期終了日の6月末日まで決して気を緩めることなく、強い熱意をもって職責を全うしようとしている姿勢に、深い感銘を受けました。その情熱こそが地区を前進させ、クラブの活性化へとつながっていく原動力であると改めて感じました。

会議終了後の懇親会では、立場を越えた和やかな交流が行われ、日頃の活動の苦勞や成功事例を共有しながら、さらなる連携を深める貴重な機会となりました。

最後になりますが、大雪の影響で航空機の欠航、特急列車の大幅な遅延や運休など、皆様の帰路に際し、たいへんご苦勞をおかけいたしました。ご遠方よりご参加いただきましたすべての関係各位に、改めてお詫びと御礼を申し上げます。

残りの任期も、地区一丸となって情熱を持って取り組み、より良い地区運営とクラブ支援に努めてまいりましょう。





次期ガバナー補佐会議 / 地区チーム・ラーニングセミナーの状況・報告

国際ロータリー第 2510 地区
2026-2027 年度 地区代表幹事

武部 幸紀 (札幌 RC)

2026年2月14日(土)に古野ガバナーエレクトの主催による第1回ガバナー補佐会議(10時30分～12時30分)と、地区チーム・ラーニングセミナー(13時30分～17時)が、札幌グランドホテルで開催されました。

午前中の第1回ガバナー補佐会議には玉井ガバナーをはじめとする地区役員と次期ガバナー補佐、次期地区幹事、次期地区財務委員の29名が出席し、次期ガバナー補佐に、古野ガバナーエレクトからアメリカ・オーランドで行われた国際協議会の報告とガバナーエレクト方針を伝え、さらに福井次期地区ラーニングファシリテーター(PG)から「ガバナー補佐の役割」を講義して頂くことで、次期ガバナー補佐としての情報を共有してもらいました。また3月のPETSと地区研修・協議会で実施される会長エレクトと次期幹事の分科会でファシリテーターとして進行してもらうために平川地区ファシリテーターよりアドバイスを受けました。

昨年度は12月に第1回ガバナー補佐会議、2月に国際協議会、3月に地区チーム・ラーニングセミナーを開催していましたが、今回は国際協議会後に開催することで、次期RI会長メッセージを踏まえたガバナーエレクト方針を理解することができたと思います。



午後からの地区チーム・ラーニングセミナーには次期地区関係者の初顔合わせとして、午前中の出席者に、次期地区委員長を加え51名が出席しました。次期地区委員長に古野ガバナーエレクトから国際協議会報告・ガバナーエレクトメッセージ・地区重点推進事項の発表がありました。また、次期地区委員長からは次期ガバナー補佐に地区委員会活動予定の説明があり、ガバナーエレクトや次期ガバナー補佐、次期地区幹事からの質疑応答を行いました。

第1回ガバナー補佐会議と同様に、次期RI会長メッセージを踏まえたガバナーエレクトメッセージを知ることができたと思います。また地区委員会活動計画書の雛形を事前に次期地区委員長に配布し、「各クラブに支援できる内容」と「ガバナー補佐に希望すること」を中心に説明してもらった結果、各委員会の支援内容のプラスαが引き出せ、今後の地区委員会活動に少なからず良い影響を与えられたと感じられました。

長時間にわたる第1回ガバナー補佐会議・地区チーム・ラーニングセミナーの終了後には懇親会が開催され、嵯峨パストガバナーの乾杯で、古野ガバナー年度に向けて関係者が懇親を深め、さらに結束を固めることが出来ました。齋藤ガバナーノミニの締め挨拶によって、全てのプログラムを無事終了しました。

最後に万全な準備を進めて下さったガバナー事務所の寺島さんをはじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。





第9グループ第54回IM報告

国際ロータリー第2510地区2025-2026年度
第9グループガバナー補佐

川本 康裕 (室蘭北 RC)

第2510地区第9グループの第54回IM(都市連合会)が2月7日アパホテル室蘭で開催致しました。来賓として玉井清治ガバナー、羽部大仁パストガバナー、出村知佳子パストガバナー、そして青山剛室蘭市長のご臨席を頂きました。

本年度の玉井ガバナーの地区テーマ・指針「リバイバル～原点回帰～」という言葉に感銘を受け、このテーマを第9グループのIMの中で何とか形に出来ないかと考えておりました。今ロータリーと言う組織が時代の流れに流されず、今一度、足元を見つめ直す時ではないかと考えました。そこで第9グループのIMのテーマを「温故知新」～故きを温ねて新しきを知る～としました。

第9グループのロータリークラブが一堂に会する機会はそうそう有りません。この機会に皆さん一人ひとり、ロータリーに付いてのお話を聞こうではないかと考え、「テーブルトークキング」という手法を考えました。そのテーマは『みんなでロータリーを語ろう』～あなたが思うロータリーの魅力～と題し、自由に話を頂き、それを他皆様に聞いて頂くプログラムです。その中に新たな発見や課題解決のヒントがあると確信しておりました。

一から自分たちで作るIMで初めての試みとなり、実行委員会一丸となり進めて来ました。

そこで、このプログラム開催に先立ち、基調講演を「ロータリーの今昔」と題して羽部パストガバナーにご講演して頂きました。

プログラムは9つのテーブルに分け各テーブルにファシリテーターを置き、基本テーマを3つ程用意し、それぞれのテーマについて皆様のお話をして頂きました。その間、玉井ガバナーは可能な範囲で各テーブル廻りお話を聞いていただきました。その後、各テーブルから発表者がトークキングの内容を簡単にお話いただきました。この内容に付いては報告書にまとめる予定です。

最後に玉井ガバナーの講評でお褒めの言葉頂きホストクラブのメンバーも感謝しておりました。

その後、懇親会へと移り乾杯の音頭のご発声を出村パストガバナーにお願い致しました。アトラクションは『ライブキッチン』～おいしい食事とお酒のマリアージュ～と題してシェフが皆さんの目の前でローストビーフとドリアを調理、それをスクリーンに投影し臨場感溢れる場面を演出しました。そして、それぞれに合うワインと日本酒で堪能して頂くという趣向で楽しんで頂きました。

今回のIMはホストクラブのメンバーが成功裏に終わったかどうかより、皆で創り上げた達成感で各メンバーの絆が生まれることが、今回のIMの本当の意義だったのかも知れません。

ホストクラブの皆さん始め参加して頂いたすべてのメンバーに感謝申し上げます。ありがとうございました。



2026 台北国際大会 2510 地区（北海道）ナイト開催のご案内

2025 年 1 月 吉日

2026 台北国際大会 本会議ご参加の会員皆様へ

国際ロータリー第 2510 地区
RI 国際大会推進委員会
委員長 松浦 光紀
副委員長 斎藤 仁

2026 台北国際大会 2510 地区（北海道）ナイト開催のご案内

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび「2026年台北国際大会」にご参加登録をいただきました会員の皆様へ感謝の意を込め、参加者相互の親睦を目的とした「2510地区ナイト」を、下記のとおり現地・台北にて開催いたします。会場は、お料理に定評のあるリージェント台北（Regent Taipei）を予定しております。ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、ぜひともご参加賜りますよう、謹んでご案内申し上げます。

敬具

記

■ 開催概要

詳 細

日時 2026 年 6 月 14 日（日） 18:00 ウェルカムドリンク / 18:30 開会

会場 リージェント台北（Regent Taipei）4 階 VIP（広東料理）

住所 No. 3 號, Lane 39, Section 2, Zhongshan N Rd, Zhongshan District, Taipei City,
台湾 104

会費 お一人様 23,000 円

■ 参加登録フォーム

以下のフォームよりご登録をお願いいたします。



<https://forms.gle/CWVDSgjC7BrfWpMb7>



新会員のご紹介

(敬称略)

江別 RC



藤城 正興

令和 8 年 1 月 22 日

農業

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌西北 RC	小川 真治	会員	(11 回)	1 月 30 日
札幌西北 RC	渡邊 葉子	会員	(12 回)	1 月 30 日
余市 RC	中島 恒子	会員	(1 回)	1 月 30 日
余市 RC	竹内 俊彦	会員	(1 回)	1 月 30 日
余市 RC	本多 宏行	会員	(3 回)	1 月 30 日
長沼 RC	政角 勝雄	会員	(2 回)	1 月 20 日
長沼 RC	池内 昌之	会員	(3 回)	1 月 20 日
長沼 RC	古川 大之	会員	(5 回)	1 月 20 日
苫小牧東 RC	内海 雅義	会員	(2 回)	1 月 22 日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦別 RC	稲津 寿一	会員	(2 回)	1 月 28 日
札幌北 RC	渡邊 靖司	会員	(3 回)	1 月 30 日
札幌北 RC	藤城 英明	会員	(8 回)	1 月 30 日
札幌西 RC	浜松 義弘	会員	(1 回)	1 月 9 日
小樽 RC	上浦 庸司	会員	(3 回)	1 月 2 日
余市 RC	中島 恒子	会員	(1 回)	1 月 30 日
余市 RC	本多 宏行	会員	(2 回)	1 月 30 日

ポール・ハリス・フェロー

芦別 RC	田中 潤	会員		1 月 28 日
芦別 RC	照井 学	会員		1 月 28 日
滝川 RC	川口 裕史	会員		1 月 28 日
滝川 RC	奥山 雅彦	会員		1 月 28 日

地区公共イメージ向上委員会より

Instagram × Rotary 2510地区

RI第2510地区公式

Instagram

各クラブの奉仕活動を
投稿！

＼ フォローをお願いします ／

RID2510HOKKAIDO

rid2510

地区公式Instagramを クラブの情報発信や広報活動にお役立てください

地区公共イメージ向上委員会では、幅広い年代の方々にロータリーの活動を理解していただくことを目的に「Instagram」のアカウントを作成しました。

地区内の各クラブでの奉仕活動などのアクションを是非地区Instagramを使っての情報発信、広報活動に活用してください。

対外的な奉仕活動の写真（1～5枚）や簡単な活動紹介文（概ね200字以内）を下記の「地区公共イメージ向上委員会」専用Eメールアドレスにお送りください。内容を確認させていただきInstagramに投稿させていただきます。

地区公共イメージ向上委員会専用Eメール

2510koukyou@gmail.com

SNS活用ガイドラインを作成しました

地区公共イメージ向上委員会では、昨今クラブや地区でFacebookやInstagramなどのSNSを広報活動のひとつとして活用されていることを踏まえ、皆さんが安心して積極的にSNSを活用できるように「国際ロータリー 2510地区 SNS活用ガイドライン」を作成しました。ぜひ各クラブでSNSでの情報発信にこのガイドラインをご活用ください。

ガイドラインはこちら





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 311

2026年2月13日
発行

1 台北国際大会で分科会開催が正式決定

6月13日から17日まで台湾の台北南港展覽館（TaiNEX）で開催される台北国際ロータリー年次大会（台北国際大会）において、当財団の分科会開催が正式に決定しました。

タイトルは「広がる基盤・つながる世界 ～ロータリーとともに歩む米山学友の実践～」。米山学友4人が登壇し、学友会活動や国際的なネットワークの広がりを紹介しながら、米山学友がロータリーのパートナーとして「奉仕の理想」を実践している姿を発信します。分科会は6月15日（月）午前9時30分から開催予定です。参加予約は不要で、入室順のご着席となります。

また、会期中は友愛の家でのブース出展も計

画しており、現在申請中です。ブースでは台湾の米山学友や、よねやま親善大使らが世界のロータリー会員へ米山奨学事業の魅力をPRする予定です。また、ブースでは限定グッズの配布や体験イベントを企画しています。多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

併せて、6月12日（金）には台湾米山学友会主催の歓迎懇親会が開催されます。登録開始は3月以降で、詳細は順次案内される予定です。ご都合が合う方は、ぜひこちらの懇親会にもご参加ください。

国際大会 分科会

6/15
Mon

2026年6月15日（月）09:30～10:30

分科会タイトル：広がる基盤・つながる世界
～ロータリーとともに歩むロータリー学友の実践～

登壇者（米山学友）



林岳毅さん（台湾）
2000-01/札幌清田RC



朴貞子さん（中国）
2006-08/岸和田RC



バヤンバット,
トゥメンデルゲルさん
（モンゴル）
2014-15/大阪東RC



フィンティミーハンさん
（ベトナム）
2001-02/金沢みなとRC

学友4名が学友会活動やネットワークを紹介し、ロータリー学友が「奉仕の理想」を共に実現するロータリーのパートナーとなっているヒントを共有します。

2 寄付金速報 — 2026年は緩やかにスタート —

前年同期比

-3.7%

普 +0.9% 特 -6.0%

1月末までの寄付金は、前年同期と比べて3.7%減（普通寄付金：0.9%増、特別寄付金：6.0%減）となり、約3,600万円の減少となりました。前年同期比

では減少しているものの、単月の寄付額は普通寄付金・特別寄付金ともに微増しており、回復の兆しが見られます。例年1月は、普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分をお送りいただく定期寄付）の下期分の納入が中心となります。2月も引き続き、皆さまのご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

3 東京米山友愛RCとベトナム南米山学友会が協働

米山学友を中心に設立された第 2750 地区東京米山友愛ロータリークラブが昨年 12 月、ベトナムのホーチミン市にてベトナム南米山学友会と協力し、地区補助金を活用した国際奉仕活動を実施しました。



さらに、日本語を学ぶベトナムの大学生 6 人に「Yoneyama Vietnam 奨学金」を贈呈するなど、次世代育成にも取り組みました。

同クラブ会長の朴貞子さん（2006-08/岸和田 R C）は、「この活動を通じて、米山の輪が確実に世界へと広がっていることを実感しました。米山学友と現役ロータリー会員が世代や国境を越えて協働する意義の大きさを再認識するとともに、参加者一人ひとりの心もより豊かになったと感じています」と語りました。

現地では、孤児院 2 施設と視覚障害児支援施設の計 3 施設を訪問し、子どもたちの学習用品やリュック、視覚障害者用そろばん、杖などの支援物資を届けました。また、子どもたちによる歌やダンスが披露され、言葉や文化の違いを越えて心が通い合うひとときを共有しました。

田 R C）は、「この活動を通じて、米山の輪が確実に世界へと広がっていることを実感しました。米山学友と現役ロータリー会員が世代や国境を越えて協働する意義の大きさを再認識するとともに、参加者一人ひとりの心もより豊かになったと感じています」と語りました。

4 当財団への寄付により 2 人が紺綬褒章を受章

第 2590 地区横浜金沢東 R C の遠藤尚男氏と、第 2780 地区藤沢北西 R C の井上直紀氏が、昨年 9 月 27 日付で紺綬褒章を受章されました。

遠藤氏は 2 月 4 日、井上氏は 2 月 5 日に、それぞれ所属クラブの例会にて褒章伝達式が行われ、出席した当財団の相澤光春副理事長から褒

章と章記が贈られました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は 2018 年 9 月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。受章された皆さまに、心よりお祝い申し上げます。

5 各国の料理を囲んで新年会 第 2550 地区学友会

2 月 1 日、第 2550 地区米山学友会が宇都宮市内にて、2026 年度新年会を開催し、米山学友とその家族 6 人、米山奨学生 15 人、ロータリー会員 5 人の計 26 人が参加しました。新年を祝うとともに、国際色豊かな交流のひとときを楽しみました。

米山学友を中心に、食材の購入から下準備まで参加者全員で協力。鶏肉団子のスープに春雨



や中華麺を加えたインドネシアの伝統料理「バクソ」をメインに、ベトナムの揚げ春巻きや中華チャーハンが並び、各国の料理を囲んで会話が弾み

ました。参加者はそれぞれ近況を報告し合い、世代や国籍を越えた和やかな歓談の時間となりました。2025 年の労をねぎらいながら、新たな一年の飛躍を願う、温かな新年会となりました。

スリランカ米山学友会 10 周年記念総会開催のご案内

- ◇2026 年 5 月 31 日（日）16:00~20:00
- ◇会場：AMARI HOTEL（コロンボ）
- ◇前日にコロンボシティツアー、前夜祭開催

詳細はこちら



なぜ公共イメージの向上が必要なのか？

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 五十幡 和彦(行田さくら RC)

CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)の中の「公共イメージ委員会」

ロータリーの活動の根源は、それぞれのクラブにあります。クラブの活動が充実し発展することが、ロータリー全体の発展につながります。地域リーダーの役割は、各ロータリークラブが活性化するように支援させていただくことです。

RI は、クラブの活動を充実させるために CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)を推奨しています。CLP の目的は、効果的なクラブ運営の枠組みを提供することにより、ロータリークラブの強化を図ることですが、その一つの形が「標準的なロータリークラブの委員会」の設置です。現在、クラブ管理運営、会員増強、奉仕プロジェクト、ロータリー財団については、多くのクラブで委員会が設置されていますが、いまだに設置が進んでいないのが公共イメージ委員会です。私がガバナーを務めた 2024-25 年度 RI 第 2570 地区の各クラブ年度計画書を見ても、求められている 5 つの委員会のうち、最も設置数が少なかったのが公共イメージ委員会でした。



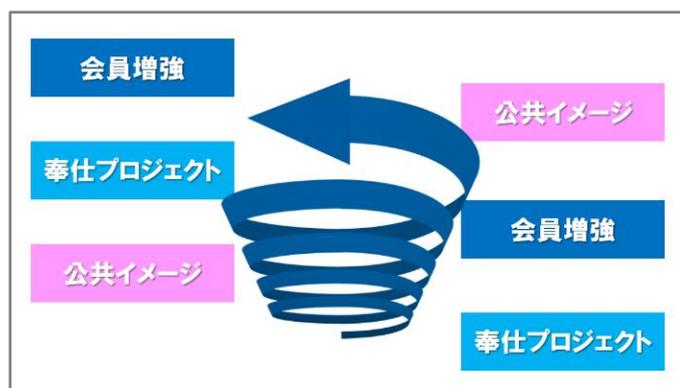
標準的なロータリークラブの委員会



より大きな奉仕プロジェクトと会員増強を実現するための「公共イメージ向上」

これは、クラブ管理運営、会員増強、奉仕プロジェクト、ロータリー財団と比べ、公共イメージの重要性がまだ十分に認識されていないことの表れでもあります。では、ロータリーの活動において、なぜ公共イメージが重要なのでしょうか。奉仕プロジェクトと会員増強と並んで公共イメージの重要性を示しているのが、以下の図です。

このスパイラルでは、①クラブが取り組んでいる奉仕プロジェクトが充実すれば、クラブの公共イメージが向上します。②クラブのブランド力・公共イメージが向上すれば、クラブに入りたいと考える方が増え、会員増強につながります。



③会員が増えれば、さらに大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトが可能になります。このように、公共イメージが向上すれば会員が増え、会員が増えればより大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトが実現できるという好循環が生まれ、ロータリークラブは発展していきます。

皆様のクラブにおいて、奉仕プロジェクトや会員増強と並んで「公共イメージ」が重要であることをご理解いただき、ロータリーの活動がますます発展されることを心よりお祈り申しあげます。

第2地域 恒久基金／大口寄付アドバイザー(E/MGA) 福原 有一（東京銀座 RC）

皆さまこんにちは。第2地域の恒久基金／大口寄付アドバイザー(E/MGA)の福原有一です。第1地域の森川昭正E/MGAが9月のニュースで、2025年度グローバル・フィランソピー・セミナーのご報告とともにご案内申し上げた通り、私ども3名のE/MGAは恒久基金や大口寄付やAKSの目標達成に向けて努力しています。25-26年のフランチェスコ・アレツォRI会長の「よいことのために手を取りあおう／Unite for Good」というメッセージを実現させる為に皆さまのご協力をお願いします。



アレツォ会長年度も3月に入りましたので、改めて中間の報告を申し上げます。まず、大口寄付、冠名基金、AKSの三分野については、大口寄付目標100件に対し63件(1月16日現在、昨年度実績は111件)、冠名基金目標各地区1件に対し4件(同16件)、AKS目標10件に対し2件(同6件)です。昨年に比べ出足がやや低調かと感じますので、ガバナー、財団委員長に奮起を促したいと存じます。

次にイベント報告です。昨年11月18日に第54回ロータリー研究会の付随プログラムとして、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにてメジャードナー午餐会／アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)認証式典が開催されました。式典にはRI本部からフランチェスコ・アレツォRI会長及びホルガー・クナークTRF管理委員長が駆けつけて下さり、メジャードナー・レベル4代表者の顕彰に続き、AKSに入会された前田直俊さん、藤井秀香さん、五十幡和彦さん、そして管理委員長サークルにレベルアップされた飯村愼一さん聡子さんご夫妻、金杉誠さん美鈴さんご夫妻に認証状と花束の贈呈が行われました。

アレツォ会長とクナークTRF管理委員長の登場と共に厳粛な式典が進み、食事会では一緒にスナップ写真を撮るなど大変和やかな会となりました。企画から実現に至るまでご協力頂いた地域役員の皆さま、財団室スタッフの方々には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

引続き大口寄付、恒久基金、AKSの目標の達成に向けご協力を宜しくお願い申し上げます。どうもありがとうございました。

第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 晝田 眞三（福山 RC）

第3地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐の晝田眞三(第2710地区・福山RC)です。

会員の皆様に寄付をお願いし、その目標を達成することが役割ですので皆様のご理解ご協力をお願いします。

さてロータリーの重点分野に「平和構築と紛争予防」があります。日本でも国際基督教大学で平和フェローの人たちがこのテーマを勉強しています。その一環として、彼らは我が2710地区(広島・山口)広島市で原爆の脅威と市民の平和運動を学び、地区財団委員会メンバーとの交流会を行います。小生も数回参加したことがありますが、8年程前のフェローの一人の話をします。

彼はアフガニスタン生まれで、(お母さんは教育を受けていないので、文字が書けなかったとのこと。) オーストラリアに亡命し、国連軍に参加しドローンの研究をしているとのことでした。オーストラリア人でもコーケイジャン(白人)ではありません。

当時、戦争にドローンが使われていなかったのでおもちゃのようなドローンをイメージしておりましたら、そんなものではなく無人機の大きさの話でした。それから数年後、ロシアのウクライナ侵攻により、ドローン攻撃が日常的に行われ、ウクライナはドローン大国になりました。

紛争はロシア・ウクライナだけでなくイスラエル・パレスチナでも起こり、ベネズエラ・イランなど政情不安な国が増えています。デモによる死者も含め、世界が良い方向に向かっているとは思えない状況です。

ロータリーの活動は市民運動ではありますが、お互いの人権を認め合うところから始まっています。お互いの人権を認め合うためには、まずはお互いを知ること、発言の背景を理解すること、違いを認めることなど他者から学ぶ姿勢が必要です。拒絶しては始まりません。我々は永年、財団奨学生、地区奨学生、加えてロータリー財団とは異なりますが青少年交換留学生、米山記念奨学生と世界に羽ばたく人たちを応援してきましたが、今こそ彼らの出番であり、彼らへの期待は高まります。

そして彼らへの支援として寄付をお願いすることは避けて通れません。皆様の浄財により、「平和構築と紛争予防」が実現すれば、その価値はたいへん尊いものになるでしょう。



1 月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2025.7.1	2026.1.31	増減	内女性
1	深 川	3	28	30	2	2
	羽 幌	3	33	31	-2	2
	留 萌	2	22	23	1	4
	小 計		83	84	1	8
2	赤 平	2	20	19	-1	3
	芦 別	2	27	27	0	1
	砂 川	3	41	40	-1	2
	滝 川	3	82	81	-1	7
	小 計		170	167	-3	13
3	美 唄	3	21	20	-1	2
	江 別	4	32	35	3	2
	江 別 西	2	31	29	-2	1
	岩 見 沢	3	89	95	6	2
	岩 見 沢 東	3	9	9	0	0
	栗 沢	3	13	13	0	0
	栗 山	3	22	23	1	4
	当 別	3	27	27	0	3
	小 計		244	251	7	14
4	札 幌	3	105	127	22	4
	札幌はまなす	2	27	29	2	3
	札 幌 北	2	31	33	2	6
	札幌モーニング	3	34	32	-2	0
	札 幌 西	3	44	45	1	9
	札 幌 西 北	3	28	28	0	4
	札 幌 手 稲	3	31	31	0	3
	小 計		300	325	25	29
5	札 幌 東	3	95	95	0	2
	札 幌 清 田	2	9	9	0	3
	札 幌 幌 南	3	59	59	0	6
	札 幌 真 駒 内	3	18	18	0	5
	札 幌 南	3	74	75	1	4
	札幌大通公園	2	13	13	0	3
	札幌ライラック	2	11	11	0	1
	新 札 幌	3	19	22	3	6
	小 計		298	302	4	30
6	岩 内	3	30	30	0	1
	倶 知 安	2	34	33	-1	4
	小 樽	4	73	74	1	5
	小 樽 南	3	49	51	2	5
	小 樽 銭 函	3	10	10	0	1
	蘭 越	2	7	7	0	0
	余 市	3	38	39	1	4
	小 計		241	244	3	20

1月会員増減数

クラブ数	67
期首会員数	2,249人
当月末会員数(女性)	2,299人(202人)
増加会員数	50人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2025.7.1	2026.1.31	増減	内女性
7	千 歳	3	78	76	-2	11
	千歳セントラル	3	41	42	1	9
	恵 庭	3	41	44	3	4
	北 広 島	2	18	16	-2	2
	長 沼	2	16	16	0	3
	小 計		194	194	0	29
8	え り も	2	16	15	-1	1
	三 石	2	10	10	0	0
	様 似	0	5	5	0	1
	静 内	3	55	53	-2	5
	浦 河	3	21	23	2	3
	小 計		107	106	-1	10
9	伊 達	3	53	51	-2	2
	室 蘭	3	26	26	0	4
	室 蘭 東	3	29	28	-1	2
	室 蘭 北	3	45	45	0	1
	登 別	4	31	30	-1	2
	洞 爺 湖	1	11	9	-2	0
小 計		195	189	-6	11	
10	函 館	4	66	68	2	5
	函 館 亀 田	3	29	29	0	3
	森	2	30	31	1	2
	七 飯	3	14	14	0	0
	長 万 部	3	9	9	0	0
	函館セントラル	4	26	26	0	2
	小 計		174	177	3	12
11	江 差	2	10	10	0	0
	函館五稜郭	3	46	53	7	2
	函 館 東	3	32	35	3	5
	北 斗	4	12	12	0	0
	小 計		100	110	10	7
12	白 老	2	28	31	3	4
	苫 小 牧	4	57	61	4	4
	苫 小 牧 東	4	30	30	0	9
	苫 小 牧 北	3	28	28	0	2
	小 計		143	150	7	19
合 計		2,249	2,299	50	202	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数18名(内女性会員1名)を含む

※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数4名(内女性会員2名)を含む

※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数6名(内女性会員0名)を含む

地区カレンダー 3月・4月

3月 水と衛生月間	
1 (日)	RLIセミナー パートII (オンライン)
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	2026-27年度会長エレクト研修セミナー(PETS)及び 地区研修・協議会(札幌)～8日
8 (日)	
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	第10・11グループIM(函館)
15 (日)	
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	
20 (金)	春分の日
21 (土)	第6グループIM(小樽)
22 (日)	
23 (月)	
24 (火)	
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	第3グループIM(岩見沢)
29 (日)	
30 (月)	
31 (火)	

4月 環境月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	第4・5グループIM(札幌)
5 (日)	
6 (月)	
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	
13 (月)	
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	
25 (土)	第2グループIM(砂川)
26 (日)	RLIセミナーパートIII
27 (月)	クラブ活性化セミナー(横浜)～28日
28 (火)	
29 (水)	昭和の日
30 (木)	

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈りいたします。



福井 昭和 名誉会員 (当別 RC)

逝去日：2026年2月17日 (90歳)

ロータリー歴： 1976年4月6日入会 (チャーターメンバー)
1993年～94年 第18代クラブ会長
2015年～16年 第40代クラブ会長
2018年～19年 第3グループガバナー補佐
ほか数々の役員・理事・委員長を歴任

表彰関係： マルチプル・ポールハリスフェロー (3)



馬場 信吾 会員 (北広島 RC)

逝去日：2026年1月9日

ロータリー歴： 1994年8月入会
2000年～01年 会長
2007年～08年 会長
2017年～18年 会長

委員歴： 地区職業研修委員、地区 GSE 委員
社会奉仕委員長、職業奉仕委員長、国際奉仕委員長、
青少年委員長、ロータリー財団委員長、米山奨学会委員長

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの例会数・会員数報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へ FAX かメールにて提出するようお願い致します。

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を添付の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。

地区ホームページ ⇒ 例会変更フォーム の順でアクセスできます。

(ホームページにアクセスが難しい場合は FAX、メールでお送り下さい)

4. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月5日です。(メールでのご連絡にご協力ください)